

事例紹介

北海道の事例



本州の事例



ドイツ (ヨーロッパ) の事例



環境対応・次世代型「木の繊維」でできた
多機能エコ断熱材

ウッドファイバー



CO₂ 吸収



森林保全

1992年、ウッドファイバー（木質繊維断熱材）はドイツのホームテルム社で開発されました。そして2009年、ドイツの最新設備と北海道のカラマツ・トドマツを原料とした生産工場が、北海道の苫小牧市に誕生しました。林地残材や間伐材の利用促進による森林循環、省エネルギー生産と少ない廃棄物を通し、温暖化防止と森林保全に貢献します。



人にやさしく



地球にやさしく



(木の繊維) 苫小牧工場

本事業は、平成20年度 強い林業・木材産業づくり交付金（林野庁）、新エネルギー技術フィールドテスト事業（NEDO）等の補助を受けています。